

令和2年度 工事検査における主な指摘事項

I. 土木工事

1. 施工管理に関すること

(1) コリンズへの登録

○コリンズの登録を期限内にしていない。また登録後、「登録内容確認書」の写しを期限内に監督職員に提出していない。

(2) 施工計画書

○福岡県の「土木工事施工管理の手引き」の品質管理基準に準じて作成する品質管理計画がない。

○施工計画書の「施工方法」に、主要な工種を記載していない。

○施工計画書の「施工管理計画」に、「出来形管理計画表」、「品質管理計画表」がない。

○事故発生時の連絡系統図は作成しているものの、下水道・水道・ガス等の関連機関の記載不足が見られる。

○出来形管理計画表に、管理方法や、測定基準・箇所を記載していない。

(3) 施工体制

○下請契約報告書を、下請負人契約後10日以内に提出していない。

○下請負人が工事を再下請負した際に必要な、元請に提出する再下請負通知書や、請負契約書の写しを揃えて提出していない。

○施工体系図が、各下請業者の施工分担の関係が分かるような体系図となっていない。

○工事現場に掲示が必要な標識類に一部不足がある。

(全ての工事において)

建設業の許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場標識、緊急時連絡表

○緊急時連絡表と同時に、最寄りの病院までの経路図を掲示していない。

(4) 建設廃棄物

○建設廃棄物処理計画書に、産業廃棄物処理業許可書の写しを添付していない。

○ガードレール撤去工事に伴って発生した金属等「有価物」のスクラップ引取りが分かる「受け票」の写しを提出していない。

(5) 安全管理

- 現場代理人が主任技術者を兼任しているのに、2段書きの兼務腕章をしていない。
- 契約図書に明示した「安全訓練等の活動報告書」を、期限内に提出していない。
- バックホウによる吊り込みの際に必要なクレーン機能付を証明できる写真を撮っていない。

(6) 着工前測量・成果簿

- 水準点及び仮BMの管理に必要な背景を入れた全景写真、アップ写真を撮っていない。
- 測量標及び仮BMの管理写真を、アップ写真と、設置位置が分かるように背景も入れて撮っていない。

(7) 各種書類

- 契約図書に明示した下請契約にあたって必要な暴力団排除条例に基づいた「誓約書（下請負人用）」を提出していない。
- 工事期間中に、契約図書に明示した第三者賠償責任保険の適用が失効している。
- 契約図書に明示した法定外保険の加入が確認できる資料を提出していない。
- 契約図書に明示した社内検査の報告に、合格書と数量対比表を揃えて提出していない。
- 工事着手前に行う基本測量や調査項目の実施・確認成果を報告しないまま、監督職員の承諾なしで着手している。

2. 出来形管理に関すること

(1) 出来形管理表（管理図含む）の充実度

- 出来形管理全項目の結果を一覧表示した「出来形管理総括表」を作成していない。
- 出来形管理総括表に記載した一部の工種において、福岡県の「土木工事施工管理の手引き」の規格値と整合していない。
- 出来形管理資料の出来形管理図表を作成していない。
- 出来形管理図表に記載した実測値に誤記が見られる。

(2) 出来形管理写真の充実度

- 出来形管理資料の出来形管理図表に記載した実測値が、出来形管理写真と整合していない。
- 検査時には確認できない不可視部の管理写真を撮っていない。
- 出来形が確認でき、またスケールが判読できる写真を撮っていない。

(3) 出来形測定への配慮

- アスファルト舗装工の出来形展開図に、出来形・品質管理コアの採取位置を記入していない。
- アスファルト舗装工の出来形展開図に、測点を記入していない。
- 区画線工の出来形展開図に、テストピースの採取位置、刻印の位置を記入していない。

3. 品質管理に関すること

(1) 品質管理

○品質管理計画により、試験又は測定を行った結果を一覧表にした「品質管理総括表」を作成していない。

(2) 品質管理写真

○使用材料の検収・確認において、承認を受けた材料と同じものを搬入したことが確認できる写真を撮っていない。

○傾斜勾配 1 : 4 以上の原地盤に盛土をする際に施工が必要な段切りの施工状況が分かる写真を撮っていない。

(3) 材料承認願

○材料承認願の添付資料に、受注者名（宛名）、日付等の記入が漏れている。また、使用する規格等が分かるカタログを添付していない。

○石材・骨材等の新材の使用承認にあたって必要な「岩石採取計画認可書の写し」を添付していない。

(4) 各種試験成績

○材料承認を受けた砕石の試験成績書の最大乾燥密度が、施工後に提出された成績試験表の最大乾燥密度と整合していない。

○生コンクリートの現場着時の品質管理項目のスランプ試験・空気量測定を実施していない。

4. 各種工事に関すること

(1) 構造物取壊工

- 舗装取壊工において、アスファルト殻積込みの際、バックホウのバケットサイズを超えた危険な大きさの状況で積込みしている。
- 産業廃棄物の適切な処理状況（代表車番による積込み～処分）が確認できる写真を撮っていない。

(2) 現場打コンクリート構造物

- 鉄筋工において、配筋のピッチ、継ぎ手及び重ね、径等について、施工状況を確認できる写真を撮っていない。
- 型枠組立完了時において、底面と側面について、スペーサーの数、かぶり厚さを確認できる写真を撮っていない。
- コンクリート打込の際、ホッパーの吐出口と打込み面の高さが、標準の1.5mを超えている。
- コンクリート打込み後のバイブレーターの施工状況を確認できる写真を撮っていない。
- 現場打ちコンクリート構造物の施工において、養生用マット等を用いた養生状況写真を撮っていない。

(3) ブロック積

- 水抜き管に、吸出し防止処理をしている写真を撮っていない。

(4) コンクリート二次製品

- 集水樹の砕石基礎工の施工状況が分かる写真を撮っていない。
- ボルト連結タイプの二次製品の擁壁、側溝等で、埋戻し前の施工状況（ボルト固定、切欠穴の高品質モルタル充填）が分かる写真を撮っていない。

(5) 舗装工

- 粒度調整路盤工の現場密度試験を行っていない。
- 下層路盤工の品質管理確認試験のプルーフローリング試験を実施していない。
- 交通開放時の舗装表面温度が分かる写真を撮っていない。
- アスファルト品質・出来形管理コアの採取位置が確認できる写真、またコアせん断模様が分かるアップ写真を撮っていない。
- アスファルト乳剤の散布において、適正な使用量をもって均一に散布している状況写真を撮っていない。

- ニート工法の樹脂系すべり止め舗装工において、使用した材料の数量計測が確認できる空袋・空缶写真を撮っていない。
- 区画線工（溶融式）に使用した材料の数量計測が確認できる空袋・空缶写真を撮っていない。
- 区画線工の施工確認写真で、塗料の溶融状況及び加熱温度が確認できる写真を撮っていない。
- 区画線工の出来形管理項目（厚さ・幅）を、福岡県の「土木工事施工管理の手引き」の出来形管理基準の各線種毎に基づいて管理していない。

(6) 路床改良工（Fe石灰処理等）

- Fe石灰工処理土の1層あたりの施工厚が確認できる写真を撮っていない。
- Fe石灰工法の品質管理の項目にあるFe石灰単体の「使用数量伝票」を提出していない。

(7) 道路安全施設・道路附属施設

- 道路反射鏡及び視線誘導標（土中建込用）の施工において、回転防止棒（鋼棒）の取付状況が分かる写真を撮っていない。

(8) 下水道工事

- 建込工法によるアルミ矢板の根入長0.2m以上を確認できる写真を撮っていない。

(9) 薬液注入工

- 施工計画書を作成し提出しているが、薬液注入工事の計画変更に伴う「薬液注入工事管理連絡会」の確認項目（注入工事の計画、注入材料、注入工事の施工等）を同時に変更していない。
- 注入量の確認に必要なゲルタイム（硬化時間）の測定結果が確認できない。
- 注入効果の確認に、注入の到達範囲を確認するために、フェノールフタレインによる試験を行っているが、着色の度合いが分かりづらい。